

「5つの自由 — Five freedoms —」

を守って動物たちに ハッピーな生活を!

「5つの自由
Five freedoms」とは、
アニマルウェルフェアの国際的な
基準になっているものです。
以下の5つの項目が掲げられていて、
飼育下の動物がいかに満足した生活を
送れているかを客観的に
評価する時の
基準とされています。

- 1 飢えと渇きからの自由 *Freedom from hunger and thirst*
- 2 不快からの自由 *Freedom from discomfort*
- 3 痛み・怪我・病気からの自由 *Freedom from pain, injury and disease*
- 4 恐怖や苦悩(精神的な苦痛)からの自由 *Freedom from fear and distress*
- 5 正常な行動を表出する自由 *Freedom to express normal behavior*



ペット動物の場合、1～4までは安定して守られていると思います。しかし、5に関しては、その動物種や品種、年齢に合った十分な生活を人が理解し切れていないために満たされず、結果として、ペット動物が問題行動を起こしてしまうことがよくあります。野良動物や野生動物には守られることのない1～4の自由だけでなく、5の自由も満たされるようなその動物らしく生活できる環境を工夫して作り、世界一幸せなペット動物にしてあげましょう。

犬・猫は、食肉目に属し、もともと一日の活動のほとんどを狩猟時間に費やしています。そのため、食べ物十分に与えられているペットの犬・猫においても遊びとしての捕食行動が現れます。特に6ヶ月から3歳くらいまでは、この捕食行動欲求が激しくなり、満たされていないと、飼い主さんや同居動物への攻撃行動や物の破壊行動へと行動転換されます。また、特に犬は家畜化に伴い幼形成熟された動物であり、人同様生涯遊び行動が残る動物です。そのため年齢に合った遊びを考えてあげることで、脳の老化防止を期待することも可能となります。

例えば、ダックスは④の破壊行動が大好きで、ボーダーコリーは⑤の動くものを追いかけて先回りするのが大好きです。その犬種が作られた目的や各個体の性格により、特に欲求が強い行動がある、それを上手に満たしてあげることが必要です。

捕食行動の一連

- ① 獲物を探す …… 例 散歩・探索ゲーム
- ② 追いかける …… 例 追いかけて
- ③ 捕まえる …… 例 おいでゲーム
- ④ 咬む・引き裂く …… 例 ガム・フード入りおもちゃ
- ⑤ 食べる …… 例 適切な量の食事

例えば、こんな工夫を…

ほ つくと色々なものを破壊する子や留守番中は、暇つぶしにガムやフード入りおもちゃを前もって与えましょう。何でも壊して飲み込んでしまう子はナイロンボールというおもちゃが破壊され難く、よく噛んでくれます。猫ちゃんも、取っ手のひもをなくした紙袋や段ボールを置いてくだけで出だり入りったりしてよく遊びます。

1
独りの時間を
楽しいものに



2
ゲームで
発散させよう



フードやおやつ、おもちゃなどをマットの下に隠すと臭いを嗅ぎながら夢中になって探します。また、突然走り出すとついてくるので、また急に止まっておすわりをさせ、また走り出す追いかけてで遊ぶこともできます。おもちゃを投げる時もおすわりをさせてからにすると過剰興奮し難くなるので元気すぎる子には実践してみよう。猫ちゃんは、夜にペラペラを動かした人、棒におもちゃをぶら下げた動かしあげると一緒に遊ぶことができます。



猫 ちゃんにフード入りおもちゃを使用する際は、透明で中のフードが見えるものを使用の方が集中してくれます。また、いつものお皿にボールを入れて食べさせるだけでも時間をかけて食べさせることができます。フードを隠せるおもちゃは様々なタイプがあります。脳の刺激となり、痴呆の予防にもなりますので高齢期の犬に試してみたい。チワワちゃんなどの極小犬の中には、フードを投げて獲物のようにしておけることで食欲が出る個体があります。さらに、おすわりやふせができれば1粒投げ、食べ終わったらおいでと呼び、来たらまたおすわりをさせることで呼び戻しの練習を兼ねて実践することもできます。

3
頭を使わせて
ゆっくり食事を
取らせよう



犬の学校 amie

TEL 080-2393-0206
http://www.amie-chien.com

(受付 10:00 ~ 18:00)